

# 匿名投稿 2議員が提訴

「Dappi」アカウントから「名前を隠す」

匿名アカウントによるツイッター投稿で名誉を傷つけられたとして、立憲民主党の参院議員2人が東京地裁に申し立てた発信者情報の開示請求が認められた。両議員は今月、開示された発信者を相手取り、慰謝料を求める訴訟を東京地裁に起した。投稿に使われたインターネット回線の契約者として開示されたのは、東京都内のウェブ関連会社だった。

アカウントは「Dappi」を名乗り、2019年6月に投稿を始めた。フォロワーは約16万3千。ネット各組の動画とともに野党を批判する出演者の言葉を紹介したり、与党議員の発言を評価したりするツイートを多く投稿していた。

立憲の小西洋之、杉尾秀哉両参院議員は、「このアカウントが20年10月25日に投稿したツイートが名前を隠す」と主張している。投稿は、財務省の公文書改めんをめぐる新聞コラム

を要約した体裁で「近財職員は杉尾秀哉や小西洋之が1時間吊るしあげた翌日に自殺」としていた。両議員は、自殺した近畿財務局の職員に説明を求めたり面会したりした事実ではなく、投稿によって名前を隠す手綱を始めたとして、投稿者の開示を求める手続きを始めた。両議員は投稿の際に使われたネット回線のプロバイダー（接続業者）を相手取り、発信者情報の開示を求めて提訴。東京地裁は9月、両議員側の主張を認め、発

## 立憲の森氏、首相に質問

13日にあった参院本会議の代表質問で、立憲民主党の森ゆうこ氏は、匿名のツイッターアカウントによる投稿で名誉を傷つけられたとして同党議員が提訴した件を取り上げた。

森氏は、河井案里前参院議員による買収事件の公判で対立候補をおどしめるためのネット工作が明らかになったと指摘。この匿名アカウントも国会質疑の動画を本来の意図と異なる形に編集して投稿し、野党を攻撃してきたとして、岸田文雄首相に「ネット工作をし、選挙結果を不当にゆがめるような行為を自民党議員にさせないと約束いただけないか」と問い合わせた。

岸田首相は具体的には答えず、「わが党の議員に限らず、それぞれがルールに従って発信をするべきだというのは当然だ」と述べた。

カウントによる投稿が平田に集中していた状況などをから、「投稿したのは同社役員か従業員、業務を委託された者であると推認される」と主張している。

一方、発信者情報の開示を求める訴訟でプロバイダ

ー側が提出した書面では投稿者情報も「情報は契約者ではなく、投稿者が発信した」とし、回線契約者と投稿者が異なることを示唆。契約者と投稿者の関係は分かつてない。

信用調査会社によると、ウェブコンサルティング会社「ウェブコンサルティング会社の従業員は15人。取引先は自民党や大手出版社もある。政治資金収支報告書による議員が弊社を提訴したと聞きました。訴状を見ていたのでコメントのしようも

なく回答は差し控えさせていただきます」とメールで回答した。

貴は15人。取引先は自民党や大手出版社もある。政治資金収支報告書による議員が弊社を提訴したと聞きました。訴状を見ていたのでコメントのしようも

なく回答は差し控えさせていただきます」とメールで回答した。